



2024.1.1

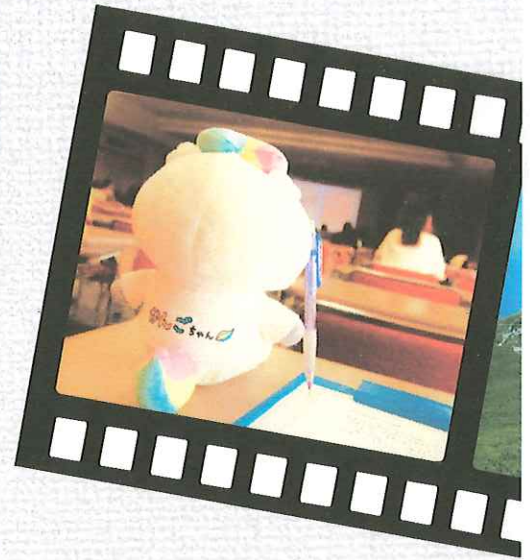
No.138



# ながの

## 特集 次世代につなぐ看護 — P8-9

- 新年のご挨拶 — P2-3
- 支部だより — P4-5
- 四職能委員会報告 — P6-7
- 輝くプラチナナース — P10
- 理事会報告 — P11
- お知らせ広場 — P12



# 新年のご挨拶

公益社団法人長野県看護協会 会長 松本 清美



皆様明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類になり初めての新年を迎えておりますが、医療、介護現場での感染対策は続いておりますことに敬意と感謝をいたします。そのような中においても、研修会、学会への参加、地区活動の継続等を通じて「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護の実現」に向けて前進する姿がありました。

本年は、県の「総合5か年計画」に基づき、「第3期信州保健医療総合計画」が策定され、スタートの年となります。計画策定の過程において関係者、住民の皆様からの看護への大きな期待をお寄せいただいております。

協会では「長野県看護協会将来ビジョン」を策定し、2025年を目途に推進してまいりましたが、本年は2040年へ向けて、これまでの取り組みを振り返り、新たなビジョン策定に向けて会員の皆様との対話を進めていきたいと考えます。

人生100年時代に向けた「看護職の生涯学習ガイドライン」の活用も4月から始まります。「わたし」がまなびの主体です。働くことと学ぶことを一体と考え、協会も皆様とともに事業を推進してまいります。

2024年が皆様にとって幸多き一年になりますことを祈念いたします。

一般社団法人長野県医師会 会長 若林 透



明けましておめでとうございます。

長野県看護協会並びに会員の皆様方には、日頃から県民の健康保持・増進と福祉の向上のため看護事業に取り組まれ、「健康長寿日本一」を目指す長野県の重要な一翼を担っていただいていることに心から敬意を表する次第です。

看護職の皆様方には、医療の最前線で様々な感染リスクに向き合いながら懸命に対応いただいていることに心から感謝を申し上げます。

地域医療の中核を担う県内の医療機関は、県民の期待に応えるべく、コロナ医療と一般医療の両立を図りながら医療の提供に努めておりますが、医療環境はコロナ禍において大きく変化し厳しさを増しております。また、県民が健康で文化的な生活を維持するためには、質の高い医療・介護を安心して受けることができるポストコロナに対応した医療提供体制の整備や、健康管理・予防医療に係る環境づくりが求められております。

看護職におきましては医療の高度化、人口の少子高齢化に伴う対応の複雑化などにより、そのニーズはますます高まっており、看護職の養成・確保は喫緊の課題です。国や県では、復職支援や勤務環境の改善を施策の柱とし、プラチナナースのセカンドキャリア支援事業、新型コロナウイルス感染症に対応する医療人材確保のための「医療のお仕事 Key-Net」等の取り組みが行われています。長野県医師会としても施策推進に大いに期待しているところです。

各一人ひとりが健康で、生涯にわたり生き生きと暮らせることは県民の願いであり、われわれ医療従事者の思いでもあります。「健康で長生き」を目指し、医療・介護・福祉の現場とともに頑張りましょう。

結びに、長野県看護協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご活躍を心からご祈念申し上げ新年のあいさつと致します。

## 一般社団法人長野県歯科医師会 会長 伊藤 正明



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2020年より世界を一変させた新型コロナウイルス感染症も、昨年5月から感染法上の位置づけが5類感染症となり、社会は新型コロナ感染症拡大前の活況を取り戻してきております。医療業界が一丸となって新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んだ結果が今に繋がっているものと確信しております。改めて最前線でご尽力された看護師の皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、アフターコロナの日常を取り戻しつつあるとは言え、いまだ収束までには至っていない新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、物価高騰対策、医療DX対応、医療従事者の人材確保等、医療業界が取り組むべき課題は多岐に及んでいます。この状況を乗り越えていくためには医療業界の結束が必須であり、看護協会と一層連携を深め、直面する課題を共有し共に解決策を見出して参りたいと考えます。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに2024年は辰年です。皆様におかれましては飛躍の年になることを祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

## ～人のつながり、未来へ紡ぐ～ 一般社団法人長野県薬剤師会 会長 藤森 和良



新年明けましておめでとうございます。

長野県看護協会の皆様には、本会事業に格段のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。日頃の皆様の献身的なご奮闘に改めて敬意を表します。

急速に進む人口減少・超高齢化社会にあって、2025年の地域包括ケアシステム、2040年を見据えた持続可能な全世代型社会保障制度の構築、他職種連携の強化等を目指した社会保障制度改革が進められています。

貴協会は、充実した専門講座や教育システム等を通じて、資質の向上と地域看護の推進に努め、県民の健康と福祉の向上に寄与されています。

私達薬剤師は、薬物療養に責任を持って業務に取り組んでいますが、今後も医療現場において、看護師皆様と今まで以上に連携を図り、適正な医薬品の提供や服薬指導等を通じ、地域医療、保健衛生の向上にその役割を果たしてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

長野県看護協会の益々の発展と会員皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

## いま!周産期の課題 一般社団法人長野県助産師会 会長 鹿野 恵美



新年あけましておめでとうございます。長野県看護協会の皆様には、本会の事業に格段のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2022年の出生数は77万人余で、少子高齢化はますます進んでいます。妊娠出産子育てに関わる職としては、「産んで育てることに価値観を見出せる社会になること」を切に願っています。

貴会と協働していく課題が何点かあります。①「出産費用の保険適用化」の中で、助産のケアを見える化して保険点数に載せていくか。②周産期のメンタルヘルスに関して、学習を深めまた事例を通して職種や機関の連携を考えていくこと。③「産後ケア事業」への対応や「伴走型支援の助産師の相談体制」などです。

助産師のケアを十分に活用して妊産婦母子の皆さまのお役に立てればと思います。

今年も、長野県看護協会の皆様と連携をして地域に寄与していきたいと考えています。貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

# 支部 だより

特徴を踏まえ住み慣れた地域で暮らし続けられるように頑張っている各支部の活動を紹介します。

## 大町支部

支部長 池田 溪子

大町支部では、6月24日に支部集会を開催、新旧役員の引継ぎを行い、その後「予防接種について医療従事者に知ってほしい事」について大町病院のワクチン・渡航外来をされている笹澤先生にご講演いただきました。コロナ禍で予防接種率が低下していることや、ワクチン忌避が起こる要因・対策のお話を聞くことができました。9月には、「人生100年時代の介護の在り方・支え方」と題して、北アルプス医療センターあづみ病院、居宅介護支援事業所の丸山先生による、市民公開講座を開催いたしました。よりたくさんの地域の皆様に参加していただけるよう、広報活動が大変重要だと感じました。次年度の活動につなげたいと思います。



## 松本支部

支部長 胡桃 伸子

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、引き続き感染対策に留意しながら、支部活動を行っています。より多くの会員や市民の方々に、研修に参加して欲しいと願いキャッチーな研修名を考える等、工夫をしました。7月の市民公開講座「お家に帰ろう」は、昨年のACPに続くテーマです。病院での看取りが限界に近づき、「慣れ親しんだ家での看取り」について、自分らしく生きていくための考える機会としました。8月の三支部合同新人研修会には、124名が参加。対面研修となり、昨年のハイブリットと違いグループワークの活気に圧倒されました。また、まちの保健室では、初めての所からの依頼で、多様な方々と触れ合うことが出来たことは、喜びでもあります。



## 北信支部

支部長 佐治 瑞恵

新型コロナ感染症が5月8日から5類感染症へ移行しましたが、医療現場に於ける感染対策は直ぐに解除されることは難しく、今年度も支部集会・研修会は、ZOOMを活用したオンラインで実施いたしました。オンラインにより、当支部の他、伊那・飯田・松本・大町・長野支部から計38名ものご参加をいただいた事にオンラインの良さも実感いたしました。次年度は、参集開催を検討しておりますが、多くの方にご参加いただける工夫を今後もしていきたいと思っております。7月から10月にかけて「まちの保健室」活動を行いました。地域の高等学校学校祭での開催、3年ぶりに商業施設での開催と、徐々に支部活動の幅を拡大しております。



## 木曽支部

支部長 小山 恵子

木曽支部では、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の普及に取り組んでいます。「元気な時に！」をキーワードとして、初めて地域住民向けに、7月29日市民公開講座を開催し、75歳以上の方も受講され、参加者は30名でした。11月11日木曽広域連合共催支部研修「在宅医療におけるACPの実際」では、佐久総合病院・小海分院・南牧村診療所所長の小林和之先生にご講演頂き、家族・訪問看護師・介護ヘルパーの立場から経験談に基づくシンポジウムとグループワークを行い、雑談からのACPを学びました。「まちの保健室」は、県立木曽病院病院祭で実施し、着ぐるみのかんごちゃんが大活躍！どの活動も対面で触れ合い話せる良さを改めて実感しました。高校生など若年層への看護職確保に繋がるPR活動も強化していきたいと考えています。



## 長野支部

支部長 吉澤 美智子

今年度は、7月の支部集会から、計画通り支部活動が行えております。支部集会、研修会では「家族の認知症を疑う時」をテーマに矢彦沢内科・脳神経クリニックの矢彦沢先生にご講演をいただき80名の参加がありました。講演後、聴講者から質問、現在抱えている悩み等が出され、時間が足りない程でした。災害研修は、8月にエマルゴ訓練、9月に昨年開催できなかったDIGの研修が開催できました。10月より「まちの保健室」を実施、11月は須坂市の依頼で須坂健康まつりにおいて「まちの保健室」を実施し多数の来場者があり地域住民の方との交流ができました。次年度も、支部役員の皆さんと協力し、興味を持っていただけるような企画を立て活動していきたいと思っております。



## 保健師職能委員会

委員長 町田 和世

今年度の活動は職能集会から始まりました。これまでのコロナ禍を経て、対応に奔走した保健師に元気になってもらいたいとの思いから「自分も回りも勇気づける！セルフマネジメント」と題し加倉井さおり氏にご講演頂きました。「どうして保健師になったのか基本に立ち返った。勇気をもらった。気持ちが楽になった」等の声が聞かれ、緊張をほぐす研修となりました。

一方、ラダーレベルに応じた体系的保健師研修は、6月末から開始しました。課題を施策化・事業化するために必要な概念化・言語化等する力を段階的に身に付ける研修です。忙しい日々の中では、後回しになりがちな研修ですが新しい思考や講師・仲間に出会えます。

また、保健師活動指針の改正が来年度予定されていることから、現場の意見を日本看護協会に提出しました。2040年を見据えた指針が示される予定ですが、保健師活動の拠り所になることに期待しています。



## 助産師職能委員会

委員長 山名 寿子

2023年度の助産師職能委員会は、超少子社会のなか多様な環境で働く助産師が社会のニーズに応え、やりがいと専門性を発揮できるための活動をしています。

新人から管理者までの助産実践能力習熟段階に応じた研修を企画・運営していますが、今まで以上に連携を意識した企画を多く開催しています。交流集会は開業助産師の方々との意見交換、新人助産師研修は3職能合同研修、周産期のメンタルヘルスは保健師との合同研修等です。出産数が減少する中で産科病棟の混合化がすすみ、安全安心な環境調整や助産師の専門性を模索している声が多く聞かれています。年2回開催している地区支部役員との合同会議では、現場の声とともに、助産師による女性とその家族への支援の実施状況など活動状況の集約、共有をしています。産科管理者研修会は、産科現場の課題解決のために、年々重要性を増しています。これからも多くの看護部長、師長のお力もお借りしながら、県内各地ではたらく助産師からの要望に応えるため、受講者の声や研修内容の発信、開催時期の検討など、より参加しやすい企画を検討していきます。



助産師職能集会



産科管理者研修 (講師:坂本すが先生)



保健師助産師合同研修  
(講師:中込さと子先生 村上 寛先生)

# 員会報告

## 看護師職能委員会Ⅰ

委員長 堀内 清美

看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）では、看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）との連携を強化して「つなぐ看護」の実践を目指して合同で研修会を開催しました。伊豆の国市伊豆保健医療センター地域ケア部部长北澤彰浩先生をお迎えし、「ときどき入院ほぼ在宅を支えるあらゆる場でのACPの実際」をテーマに講演会とシンポジウムを行いました。いかにその人らしく最期まで生き生きかを考えることを支援し、人生の集大成まで寄り添い支えることが大切であること、看護職としての役割だけでなく自分のこころづもりについても考える機会となり活発な意見交換がされました。



シンポジウム



講演会

看護協会支部役員との合同会議では、「働き方改革への取り組みと課題について」と題し、夜勤負担、時間外労働、ハラスメントについて話し合い、現状と好事例について情報交換を行いました。今後も現場の生の声を吸い上げ、実践に活かせる研修を企画していきます。

## 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 吉澤 美保

今年度は、昨年に引き続き看護師職能Ⅰ委員会（病院領域）との連携を図り相互理解を深めるために、合同での会議や研修を開催しました。職能集会「烈女フローレンス・ナイチンゲールから今に引き継がれる看護」では、「元気をもらいました」「管理者としての考え方が学びとなった」等の感想を頂きました。また職能ⅠⅡ合同会議では「退院支援の連携について」情報共有を行いました。合同研修では「ときどき入院ほぼ在宅を支えるあらゆる場でのACPの実際」を開催し、日頃の会話の中からその方の想いを引き出していくことが大切である等ACPの理解と必要性を学びました。活発な意見交換ができ有意義な時間を共有することができました。

地域の実情を知ることを目的に、支部職能Ⅱ事業担当者との合同会議を9月に開催しました。様々な立場から、①看Ⅱ領域で働いたのしさ、やりがいとは ②ACPについて ③看護の質向上について 意見交換を行い現場の声を聞く良い機会となりました。

また、今年度も職能Ⅱだよりを看護ながの9月号の中で発行することができました。「その人らしい生き方を支えるあらゆる場での」をテーマに事例紹介をしました。いろいろな場で看護師がその人らしい生き方をささえていること、また、他施設の様子が分かり施設での活躍をもっと知りたいと思いました。ACPの教育が必要だと感じた等様々な感想を頂きました。

さらに、今年度新たな取り組みとして、職能Ⅱ領域で働く看護職対象に、看護の質向上や労働環境に関する現状課題を明らかにする目的で実態調査を行いました。結果（概要はp11参照）をもとに今後の活動に繋げていきたいと思ひます。





## 世代をつなぐ看護

佐久医療センター 飯高 真由

私は循環器センターで看護師として勤務し3年目になります。当院の看護体制はPNSを導入しているため、先輩とペアになって検温に回ります。病棟の先輩には心臓リハビリテーション指導士や心不全療養指導士、補助人工心臓管理技術認定士など資格を持った先輩が多く在籍しており、その先輩方とラウンドし看護ケアを提供することで色々な視点で患者さんを見ることを学び、専門性の高い看護を提供できていると思います。

心不全増悪を繰り返さないよう減塩やセルフモニタリングの指導を行っていますが、患者さんにはその人の歩んできた人生があり大切にしているものがあります。中には指導した内容を実践できない方もいるため、生活背景や人生観に合わせた看護が必要だと感じました。

現在の医療現場は病院から在宅へ移行してきて

おり、当院では強心薬を切れず入院が長期化している患者さんの在宅カテコラミン投与を支援した「おうちへ帰ろうプロジェクト」を行っています。自分が学んだ知識を患者の指導や看護ケアに生かしている先輩方を見て、「私ももっと深く学びたい!」と思い、心不全療養指導士の資格の取得に取り組んでいます。医療は日々進化しているため、その時代のニーズに対応できるよう自己研鑽を継続し、私が先輩方から教えてもらったように次の世代に繋いでいきたいと思っています。



## つなぐ看護

# 次世代につなぐ看護

Vol.15

看護職全体のつながりを大切にしたいと考えています。



## 次の世代につなげる看護 ～学び続ける姿勢～

北信総合病院 松村 葉菜

私は5年目看護師となりましたが、常に学び続けるという意識がまだ不足していると感じ、日々の業務を一生懸命行いながら、知識や技術を増やしていきたいと考えています。病棟では後輩の育成や、今年度からは学生指導にも携わっていますが、指導の難しさを実感しています。先輩への相談や後輩と一緒に考えることで自分自身の成長にもつながっていると考えます。

また、災害看護に携わりたく、今年度長野県DMATの研修を受け、10月には長野県総合防災訓練にDMATの一員として参加し、実際に災害が起こったことを想定し訓練を行いました。院内のDMAT隊員との交流もあり、様々なことを教えてもらう場面が増えました。その中で「訓練が楽しくて仕方がない」といった話や、沢山の訓練や研

修に参加することで「知識や技術を維持している」という話も聞きました。私もDMAT隊員として災害現場で活躍できるよう、今後も積極的に研修や訓練に参加していこうと思います。

先輩方に教えて頂いた学び続ける姿勢を次の世代に伝えながら、自分自身もさらに成長できるように先輩や後輩と一緒に切磋琢磨し高め合っていきたいと思っています。







## 世代をつなぐ看護

丸の内病院 柴野 恵里花

新人として現在の病院に入職し、もうすぐで四年となります。現在働いている病棟は急性期の混合病棟で、毎日多くの患者さんが入院してきます。忙しい毎日の中で私は学生時代の実習で学んだ「患者さんはみんな誰かの大切な人」という言葉を大切にしています。

新型コロナの流行により面会制限が設けられ、他職種カンファレンスも小規模となり始めました。制限が多い中、患者さんが辛い時に寄り添えない家族の思いを汲んで双方に詳細な様子を伝えていきます。また、自分のことを訴えることができない患者さんとの関わりには、家族から生活背景、家族関係、性格などの情報を得た上で他職種と共有しています。

コロナ感染症が五類感染症へと変更になってから少しずつ緩和されてきていますが、まだまだ制限が多く、緊張感が溢れる日々です。変化が多い毎日ですが自分が大切にしていることは変えず、一人ひとり全然違う患者さんとその家族を尊重し、大切にしてこれからも看護していきたいです。



## 【若い看護職編】

3～5年目の方々に  
お聞きしました。

## 世代をつなぐ看護～先輩たちからつながれた看護と次世代につなぎたい看護～

飯田市立病院 高木 未優

看護師として働いて5年が経過しました。新人の頃は業務内容を覚えることに必死で、日々周りを見る余裕もなく、自分のことばかり考え勉強し働いていました。その中で徐々に知識・技術が身に付き、自分の看護実践に自信が持てるようになったころ、患者さんのことを常に考える先輩たちの姿に気付きました。忙しい業務の中、手を止めて患者さんと目線を合わせながら患者さんの言葉に耳を傾ける人、その話の内容で重要なことは記録として残す人、話すときには必ず患者さんの名前を呼ぶ人など、患者さんと丁寧に関わっている先輩方の姿をみて、看護師は人対人の職業であると改めて気付くことができました。

誠実な対応が信頼関係を築くことにつながります。業務をこなすだけでなく、五感を使ってまずは相手のことを知ろうとする姿勢をとることで、患者さんの身体の様子だけでなく抱えている気持

ちを知り、看護内容に反映させることができると考えました。また、その関わりの時間を作るには、知識・技術がなければできないことも知りました。看護の現場は多重課題の連続です。自分に余裕を持つためにはまず知識・技術を向上させ、時間を調整できるようにしなければなりません。

今後も、看護師は人対人の職業であることを忘れず、患者さんに真摯に向き合い、より良い看護を実践するために自己研鑽に努めていきたいと思えます。



# 輝くプラチナナース

「プラチナナース」とは、概ね50歳以上の熟練したスキルと豊富な生活体験を持つ看護職のことです。自身のキャリアを活かし、安定していて、誰からも頼りにされ、活躍中の看護職を紹介します。



長山美佐子（旧姓新免美佐子）さん 88歳 東京都在住 長野県飯山市出身

【経歴】 看護師歴66年。昭和32年から都立病院に勤務され、昭和40年に育児に専念するため一時退職した後に復職し、看護部長まで務め上げられる。定年後、医療財団法人縁秀会田無病院の当時医院長に声を掛けられ、看護師を継続することに。縁秀会には様々な施設があり、特養の副施設長等を歴任される。現在は病院の正面玄関に週3～4回立ち、朝8：30～11：30まで発熱者のトリアージ、診療相談、外来案内、検査案内、入退院患者の対応等、長年の経験を活かし病院の顔としてご活躍されている。



## 【～健康の秘訣～】

一番の秘訣は看護師の仕事が続けていることだそうです。患者さんと会うことで元気をもらっているようで、久しぶりに会った患者さんからは「最近見なかったけど元気でした？」など声を掛けられるそうです。また最近では息子さんに勧められ週1回パソコン教室にも通い、その他では、機会があれば大好きなビールも飲まれるとのことでした。

## 【～年を重ねた今だから自分の経験を活かしている～】



看護師を続けられる理由について、「看護が好きだから」という長山さん。また「長年積み重ねてきた経験と自分も高齢であることで、より相手の立場に寄り添った看護ができる」と語られていました。正面玄関では様々な対応をされており、診療相談、来院された方に椅子を準備することや、介護の相談を受けることもあるそうです。相手が何を求め何に困っているか、訴えや問題の本質を考え、対応されていることがその姿から感じられました。また、時には玄関で大きな声を上げる患者さんには囁くように優しく話しかけて落ち着いてもらうこともあるそうです。職場環境の整理にも努めるなど、今後も看護を続けていくことを嬉しそうに語られていました。

## 募集

70歳以上の方で、看護職として活躍している方を「看護ながの」で紹介させていただきます。自薦他薦は問いません。  
看護協会メールアドレス：kangonagano2023@nursen.or.jp  
2024年3月31日締切

## \* 介護・福祉関係施設・在宅等領域のアンケート調査を行いました

看護師職能委員会Ⅱ（以下職能Ⅱ）において、長野県内の職能Ⅱ領域で働いている看護職を対象に、2023年8月アンケート調査を実施しました。

県内の特別養護老人ホーム・老人保健施設327施設・デイサービス870施設・訪問看護ステーション194施設・診療所1,208施設で勤務する看護職に無記名で調査を依頼し、896件の回答（有効回答数は796件）が得られました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

現在、職能Ⅱ委員会において結果を分析し、考察しています。県医療労働組合連合会による「2022年看護職員の労働実態調査」では、仕事を辞めたいと思っている職員が75.2%と公表されていましたが、当調査における就業継続の意向は「ある」と回答した人が80%以上でした。

また、職場における看護の仕事のやりがいや魅力に関して、どのようなことに魅力を感じているかの自由回答では、「利用者や家族への直接的な関わりとサポート」に関する記述が最も多く、次いで「患者さんの喜びや回復・笑顔」でした。

一方、新人採用に関する質問に対して、職能Ⅱの施設特性として、少ない人数での個別の判断の難しさや現場での葛藤などが伺えました。

集計結果の詳細につきまして、2024年3月に長野県看護協会ホームページ上で公表予定です。

（看護師職能委員会Ⅱ）



## \* 賛助会員第1号決定!

「東洋羽毛北信越販売（株）」様が賛助会員の第1号に第6回理事会で承認されました。ありがとうございます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

賛助会員  
募集中

賛助会員は、長野県看護協会定款第5条により、本会の目的に賛同し、看護の質向上等を援助する個人又は法人もしくは法人格のない団体です。賛助会費を納めていただくと、特典を受けることができます。特典は本会の機関紙や印刷物を無償で受け取ることができる。「看護ながの」に広告を年1回無料で掲載することができる。名称を協会会館内に掲示及びホームページに掲載する、となっています。

ご支援いただける個人・団体の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。ご連絡をお待ちしております。

## \* 2024年度 公益社団法人 長野県看護協会 定時総会について

下記のとおり、定時総会を開催いたします。

記

日時 2024年6月15日（土） 9時00分～15時30分 定時総会及び職能集会

場所 長野県看護協会会館 松本市旭2-11-34

詳細については、2024年4月に送付する開催通知にてお知らせいたします。

理事会報告

### ○第7回理事会（12月5日開催）

#### 〈協議事項〉

- (1) 2024年度長野県看護協会重点事業計画（案）について
- (2) その他

#### 〈報告事項〉

- (1) 日看協理事会報告
- (2) 令和6年度 日本看護協会名誉会員・日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- (3) 令和6年度 県知事表彰（保健衛生表彰）候補者の推薦について
- (4) 2023年度 収支予算の執行状況及び決算見込みについて
- (5) 2023年度上期 協会立訪問看護ステーション収支報告
- (6) 「会館建替維持修繕資金」取扱規則の一部改正について
- (7) 理事・委員長合同会議より

## 就職ガイダンス 「信州で看護。」 2024

長野県で看護職として働きたい方（看護学生・看護職）の就職ガイダンス

日時：2024年2月25日（日）  
12:00～16:30

会場：ホテルブエナビスタ

内容：学生向け国家試験対策セミナー  
就職ガイダンス

- 長野県内の約60病院等が参加します。
- 参加により嬉しい特典があります！
- 申し込み方法などの詳細は専用サイト、二次元コードから



信州で看護。 検索

## 2024年度セカンドレベル募集について

2024年度ファーストレベル・セカンドレベル募集要項が協会ホームページにUPされています。セカンドレベル受講の応募をお待ちしております。なお、2024年度のサードレベルは休講となります。

セカンドレベル応募期間

2024年1月12日（金）～25日（木）必着 募集定員60名  
認定看護管理者教育課程運営委員会

## 新年の挨拶

「つなぐ看護」～次世代につなぐ看護～をテーマに看護職全体のつながりを大切にしたいと考え、管理職編・中堅看護職編・若い看護職編をお届けしました。沢山の方々に快く記事や情報を提供していただき感謝申し上げます。「看護ながの」を通して次の未来に続くための看護職全員の励みになれば嬉しく思います。

最後に2年間の委員会活動で出会った方々にご協力いただき学びや経験を深め楽しい活動につながりました。一人でも多くの会員の方に読んでもらえる広報誌作りをめざしてきました。一緒に活動をしてくれた委員の皆さん本当にありがとうございました。また活動に協力して頂いた看護協会関係者の方々に感謝申し上げます。

広報出版委員長 椎名



リソースナース活動支援プロジェクトは、2024年度から「リソースナース活動支援特別委員会」になります。新たな体制のもとリソースナースの活動支援を継続して発展的に行うための方策等について検討していきます。

リソースナースの登録についても、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



長野県看護協会ホームページのバナーよりお入りください。

手作りのマフラーをいただきました



睡眠と、空気と、水と、

TUK東洋羽毛

## 82Debit

現金感覚で使えます！  
お支払いはその場で口座引落し  
ポイントも貯まります！

＜初年度年会費無料＞  
※2年目以降は年会費1,375円（消費税等込）が必要になる場合がございます。

八十二銀行

## 放送大学 あなたも始めてみませんか？

＊ 全国で約1万人の看護師さんが学ばれています ＊

学士(看護学)の取得 大学卒業 看護師国家試験の受験資格の取得

知識を深めたい 全部可能です！ 特定行為研修の共通科目の受講

学び直したい ネットで学習

入学試験なし！ インターネット出版も可能！

4月入学生受付中  
3月12日（火）まで

【入学個別相談】を随時受付けます。  
※ご希望の方は下記へお電話ください。

放送大学のQRコード

放送大学のQRコード

お問合わせ資料の請求 放送授業のお試し視聴

放送大学 長野学習センター  
〒260-0835 長野市諏訪1-6-1 アーク諏訪3階  
☎ 0266-58-2332 月曜・祝日休み  
放送大学(1983年設置)は、文部科学省・総務省共管の正規の通信制大学です。

## MAZDA CX-30

20S Proactive Touring Selection SIGNATURE STYLE

今私たちに、ジャストサイズのSUV。

e-SKYACTIV G  
マイルドハイブリッドモデル

甲信マツダ  
https://www.koushin-mazda.co.jp